



# 京山だより

ホームページ <http://kyogase-es.agano.ed.jp/>  
メールアドレス [kyogase@kyogase-es.agano.ed.jp](mailto:kyogase@kyogase-es.agano.ed.jp)

令和2年7月7日  
第3号  
阿賀野市立京ヶ瀬小学校  
Tel.0250-67-2103

京ヶ瀬小学校

検索

## トラブルも学びにつなげる

校長 駒形 哲宣

6月27日（土）一日学習参観には、大勢の保護者・地域の皆様からご来校いただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

国語や算数などの勉強の他に、全学年がグラウンドで、低学年は50m走、中学年は80m走、高学年は100m走などの体育の勉強も参観いただきました。お陰様で子どもたちは力の限りに精一杯走ることができました。



日々、子ども同士のトラブルは起きています。子ども同士で解決できるものから、教師がかかり時間をかけて解決するなど状況は様々です。以下、トラブルの一部をお伝えします。

- ・ 悪口を言われたので、物をその子に向けて投げた。（幸いにも当たりませんでした。）
- ・ 遊んでいる時、「デブ」と言われ、とても嫌な気持ちになった。
- ・ ゲームの中の交流でウザイ・キモイなどの言葉がもとで、学校でも嫌な気持ちを引きずった。
- ・ ゲーム仲間に、お金が絡むアイテムをプレゼントした。 など

学校ではトラブルが起きると、まず、「どうしたの?」と、子どもに聞きます。子どもは、心の中で「先生が来た。まずい。怒られる。」と思っているはずですが、でも、予想と違う私たちの対応に、「それは…」と話し始めます。

後は、子どもの話をひたすら聞きます。中には自分にとって都合の悪いことを省略して話す子どももいます。しかし、しっかり「うん。うん」と頷きながら聞きます。

そして、ある程度、状況を聞き終わったところで「では、どうする?」と問います。

この言葉をきっかけに、子どもは、これからのことを考え始めます。子ども自身が自分の行動を省みて、これからどうするか、どうすべきかを考えます。私たち教職員は、このことを大切にしています。

学校は、子どもにとって勉強だけではなく、遊びも、またトラブル一つとっても、大切な学びの場となります。この学びを子どもたちの成長の糧につなげることも学校・教師の役目と考えます。現在、そのように対応している職員集団です。

学校には様々な事を学ぶチャンスがあります。

子どもたちが小学校を卒業して中学生・高校生…そして、大人になったとき「人生の大切な基礎基本は京ヶ瀬小学校で学んだ」と胸を張って言えるように学び場を保障します。

# 6月27日(土)一日学習参観

## 【全学年 体育】

今年新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休業明けから体育の授業はできるだけ屋外で行ってきました。子どもたちは、生き生きと運動していました。

「3密を避けることができない」ということで、運動会が中止となりました。仕方がないことです。しかし、子どもたちが一生懸命に走る姿は、見ていてとても元気が出てきます。

「この姿をおうちの人に見てもらいたい!」「子どもたちの元気を、おうちの人や地域の人に届けたい!」という思いで、一日学習参観で、全学年体育の授業を行うことにしました。

子どもたちは、張り切っていました。「家の周りを走ってきたよ」「家でも練習したんだ」「絶対1位になる!」「緊張するなあ。でも、おうちの人があるんだよ。だから、がんばる!」と、まるで運動会当日の朝の光景です。この日にかかる思いが伝わってきました。



授業が始まる前に、「たのしみ～」と言いながらグラウンドに向かう子がいました。走ることが楽しくて、楽しくて仕方がないのです。友達と競い合いながら、自分の力を発揮して、技能を伸ばすことに喜びを感じているのです。

走っている途中で、転んでしまう子がいました。大きな声援を受け、自分の力に変えたのです。ただ、力があふれてしまったのです。転倒しても、すぐに立ち上がり、走り始めました。さらに、声援が大きくなりました。

走った後に、涙があふれる子がいました。全力で走ったのですが、悔しさが残ったのです。「ああしておけばよかった」と、二度と戻らない時間に思いをはせ、「次こそは」と決意を新たにしていました。

京和荘側のグラウンドフェンスの外から、「あの、今日は運動会か、なにかですか。子どもさんが走っていらっしやっただけで。次は、何時からですか。少し見させてもらって、よろしいですか」と声を掛けていただきました。

子どもたちの一生懸命な姿はいかがだったでしょうか。保護者や地域の皆さんに、元気や力が届けられたら幸いです。

## 【授業いろいろ】



### 社会科で「プログラミング教育」

どういう手順をたどれば、目的が達成できるかを論理的に考え、「これじゃだめだ」「何が足りないのかな」「うまくいかないのは何が原因かな」と、試行錯誤を繰り返します。

不思議と子どもたちの姿勢が、前のめりになります。

### 生活科

「同じ日に種を植えたのに、こっちは葉っぱが14枚。こっちは6枚だね」生長の違いを目の当たりにして、子どもたちは真剣に考えます。「たぶんだけどね…」「そうかもしれないね」と考えを交流しながら、どこに置いたらいいか、どんな世話が必要か、秘策を見出します。「じゃあ、明日からやってみよう!」につなげます。



### 算数

「ひよこは何羽?」と尋ねると、「かんたんだよ〜。12羽!」

どんどん数を増やしていくと、「あれ?何羽なんだろう」「数えられないよ!」

「じゃあ、どうしたら数えられる?」と投げ掛けると、子どもたちのアイデアがふくらみます。「それだとたいへんじゃない?」「それ、いいね」と、考えを出し合いながら、自分に合ったより良い方法を見付けます。

今年度、当校は、パソコン等のICT機器を使った算数の授業づくりを推進しています。

## 【休み時間いろいろ】



20分休みやお昼休みの様子も参観いただきました。ジャングルジムでの鬼ごっこ、一輪車や竹馬など、教室や体育館、グラウンドでの活動をご覧いただきました。

「ねえ、見て!」と、おうちの人に一輪車を披露している子もいました。練習の成果を見せたかったのでしょう。また、一緒に遊んでくださる保護者の方もいらっしゃいました。

普段とは違った鬼ごっこに、子どもたちは大喜びでした。



# 6月 いじめ見逃しゼロを目指して

新潟県は、6月と10月を「いじめ見逃しゼロ強調月間」としています。そこで、当校の取組を紹介します。

## 【道徳や学級活動の時間に】



各学級で、道徳や学級活動の時間に、道徳の教科書や『生きるⅠ』『生きるⅡ』『生きるⅢ』等を使って、「いじめってなんだろう」「いじめは人の心を傷つけるもの」「暴力だけじゃなくて、言葉でもいじめになる」ということを学習しました。

その後、各学級でめあてや合言葉を決めました。



## 【7月1日(水)全校朝会で】



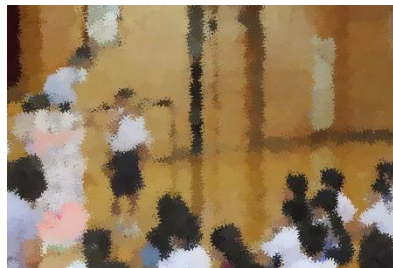
### 校長先生のお話

悪口や暴力、いじめ。してはいけないことには理由があります。どんな理由があるのでしょうか？人には、幸せにくらす権利があります。「人権」と言います。悪口や暴力、いじめは、人権をなくすことなのです。京ヶ瀬小には、ダメなことを注意できる子、「ダメ」と言える子がたくさんいます。

悪口や暴力、いじめを許さず、楽しく、笑顔輝く京ヶ瀬小にしていきましょう。

### めあてや合言葉の発表

学級で決めためあてや合言葉を、学級ごとに発表しました。発表したことで、「いじめはしない!」「仲良くしよう!」という気持ちを高めることができました。



当校は、「一人一人が輝く京ヶ瀬っ子」を目指して、教育活動を進めていきます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動が制限されておりますが、全職員で知恵を出し合い、「子どもが、地域が、学校が元気になる」よう努力を続けてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞご理解・ご協力をお願いいたします。